

コロナ対策

社会経済活動の正常化に向けて！！

新型コロナウイルス感染症に関する緊急要望を3回行いました。

1回目

令和2年2月25日
新型コロナウイルス感染症発生に伴う緊急要望を提出しました。

2回目

令和2年5月11日
経済活動再開に伴う緊急要望を提出しました。

3回目

令和3年1月20日
ワクチン接種の円滑化及びワクチンの適切な管理、副反応のリスクなどについて、県と市町村で密接に連携し対応するよう要望を提出しました。

情熱行動

熊本県議会議員 本田雄三
HP : <https://hondayuzo.com>

連絡先：県議会公明党 096-333-2645

MAIL : yuuza303666@gmail.com



<https://hondayuzo.com>



本田ゆうぞう
HP

地元代表として 本田は情熱行動！

新型コロナウイルス感染症への取り組み /

KMバイオロジクス株式会社を視察



令和3年3月20日 新型コロナのワクチン開発に取り組まれている製薬会社「KMバイオロジクス」さまの合志事業所と菊池研究所を視察いたしました。難解な言葉が多いのかなと思っていましたが、永里社長はじめ分かりやすくご説明いただき、大変に勉強になりました。現在、開発中の不活性ワクチンの早期認可に期待します。同社では、英製薬大手アストラゼネカが日本国内に供給するワクチン製剤化も始めておられました。

熊本県議会議員

本田ゆうぞう 議会NEWS

情熱と行動で 活力ある熊本を !!
KUMAMOTO



情熱行動
令和5年
vol.10

特集 令和4年12月定例会（12月8日）本会議 一般質問

4回目の一般質問を行いました!!



① 限りある地下水利用における保全対策

- (1) 硝酸性窒素の濃度削減
- (2) 企業誘致に伴う地下水保全対策

Q 硝酸性窒素の濃度削減の現状と今後の対策は？
TSMC操業開始にあたり、周辺地域の涵養量の見直し及び地下水の保全をどのように担保されるのか？

A 広域的に合併浄化槽の設置促進、良質な家畜排せつ物由来堆肥の生産と有効利用の推進、土壌分析に基づく施肥方法の普及などが必要。
涵養量を確保できるよう、水田湛水期間や面積拡大など白川中流域の関係市町等と協議し、関連企業の集積も見据え、宅地への雨水浸透ますの設置、未利用水の活用など検討する。

② 熊本市及び周辺地域主要道路の慢性的な渋滞対策

Q 深刻化する渋滞の即効性のある緩和策は？

A 交差点改良や信号制御の見直し、公共交通利用促進など即効性のある渋滞緩和策を前倒しで取組む。
バスレーン確保実現に向け、支援を行う。

③ 認知症早期診断の取組み

Q 「日本一の認知症施策推進県」で効果的な3層構造活用による早期診断への施策は？

A 医療機関等の拡充を図り、各地域の人材育成と連携に努め、今後も早期診断できる医療体制の充実を進める。

④ マイナンバーカードの保険証利用システムの課題

Q マイナンバーカードの保険証利用システムによる診療等情報の即時性の課題をどう対応するのか？

A 国は、マイナンバーカードの保険証利用システムを構築しているが、情報反映が診療から1か月程度遅くなる。県が推進するくまもとメディカルネットワークの診療等情報は翌日に反映されるが、県外では閲覧不可。双方の連携を要望し、厚労省は連携策を検討。連携ができるよう、くまもとメディカルネットワークの充実に向け取組む。

⑤ 過去最多の不登校対策

Q 県の不登校者数前年度比1,155人増の4,151人で、過去20年で最多である。フリースクール等での学びを、一定要件のもとで在籍校の校長が出席扱いにできる制度の仕組み、またフリースクール等に通う出席扱いの状況及びフリースクールへの県独自の支援は？

A フリースクール等で学ぶ児童生徒の出欠の取扱いは、学長が市町村教委と連携して判断。H30年度出席扱いは43%、R4年9月で82%と連携が進んでいる。今後、市町村教委設置の教育支援センター運営をフリースクール等へ委託する場合も、現行制度活用の検討を進めている。不登校児童生徒の意思が尊重され、個々に応じた学びができるよう関係機関と連携し、教育機会確保に努めている。

⑥ ワクチン接種後の健康被害救済手続の迅速化

Q 国の方針でワクチンを接種し健康被害が発生した場合、責任を持って国が対処するとしており、審査審査の迅速化にかかる県の見解は？

A 新型コロナワクチンは約3億5千万回接種され、救済制度による申請は先月末時点で約5千件、審査終了は約3割で申請増加に追いついていない。県も令和3年2月以降84件の申請を進達、先月末時点で審査終了は約2割の16件である。残り68件の約6割が半年以上経過し、早急な改善が必要と考える。これまでも全国知事会を通じて要望してきたが、今後も審査の迅速化を強く働きかける。



情熱行動

本田雄三は一貫して主張してきました。

はじめに2月6日のトルコ南東部で発生した地震で犠牲となられた方々に対し、深い哀悼の意を表すとともに、被害に遭われた方々に心からお見舞い申し上げます。一刻も早い復興を切に願っております。

春の足音とともに熊本地震からの創造的復興のシンボルでもあります、阿蘇くまもと空港の新旅客ターミナルビルが、いよいよ3月23日にオープンするなど、明るい兆しに経済復興の期待が膨らみます。新型コロナウイルス感染症におけるマスク着用は緩和されるに至りましたが、手洗い・うがいの感染対策は継続しましょう。今回は昨年12月定例議会の一般質問及びこれまでの活動の模様を報告させていただきます。

熊本県議会議員
本田ゆうぞう

教育についての状況を視察いたしました！！

教育

令和4年6月2日 児童発達支援・放課後等
デイサービス視察

令和4年1月14日 熊本電波高専視察

令和3年10月26日 フリースクールに
関する意見交換会

再生可能エネルギーを視察いたしました！！

再生エネ

令和4年7月28日 全国の自治体の中でも特に地産地消の観点から再エネ推進に取組まれている五島市の「ごとうの電気（洋上風力）」及び環境省が進める海洋再エネ（潮流発電）、下関市の最新バイオマス発電所を視察。



熊本の復興について様々な活動を行いました。



令和4年6月1日 熊本地震発災から6年が経過し、インフラ整備の進捗状況や
それ以外の生活面等における復興についての検証を知事に要望。

令和3年11月27日 國土交通大臣豪雨灾害
復旧状況視察同行



令和2年7月豪雨災害状況



令和3年3月7日 赤羽国土交通大臣が来県されましたので、
「国道325号新阿蘇大橋」の完成と開通を記念する式典に同行しました。

活力ある
熊本をつくる